

令和3年度 第4回 東京都保険者協議会

令和3年度 第3回 特定健診・特定保健指導特別部会

合同開催 会議要旨

委員定数 24名

- 1 開催日時 令和4年2月10日（木） 午後2時00分～午後3時04分
- 2 開催会場 Web会議形式にて開催（AP渋谷道玄坂11階I・Jルーム）
- 3 出席者 【18名】
- | | |
|------------------|----|
| 東京都担当部署代表 | 1名 |
| 全国健康保険協会東京支部代表 | 3名 |
| 健康保険組合代表 | 3名 |
| 国民健康保険の区市町村代表 | 3名 |
| 国民健康保険組合代表 | 1名 |
| 共済組合代表 | 1名 |
| 東京都後期高齢者医療広域連合代表 | 1名 |
| 健康保険組合連合会東京連合会代表 | 1名 |
| 東京都国民健康保険団体連合会代表 | 1名 |
| 医療関係者 | 3名 |

4 会議次第

○開 会

○報告事項

- (1) 令和3年度 各種会議開催状況について
- (2) 研修会の開催について
- (3) 「東京都保険者協議会における協働の取組」について
- (4) 保険者の取組事例の構造化について
- (5) コロナ禍の健康等への影響分析について
- (6) 令和3年度 負担金の返還予定額について

○議決事項

第1号議案 令和3年度 東京都保険者協議会関係業務会計歳入歳出予算補正について

第2号議案 令和4年度 東京都保険者協議会事業計画等について

第3号議案¹ 令和4年度 東京都保険者協議会関係業務会計歳入歳出予算について

○その他【情報提供】

- (1) インターネット福祉保健モニターアンケート結果
～「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」について～ 等
- (2) コロナ禍におけるがん検診の受診促進のための普及啓発について
- (3) 女性の健康をサポートするポータルサイトについて
- (4) 肝炎ウイルス検診に係る受検勧奨等を目的とした啓発資材について
- (5) こころといのちの講演会について
- (6) 東京都歯科医師会の取組について
(日本健康会議「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」宣言2関係)

○閉 会

5 会議要旨

《開 会》

(事務局)

- ・東京都保険者協議会設置運営規程第12条（会議録等の取扱い）について説明
- ・議決権を有する委員（代理人含む）20名中15名が出席し、過半数に達していることから、東京都保険者協議会設置運営規程第10条に基づき会議を開催することを報告

《報告事項》

- (1) 令和3年度 各種会議開催状況について
- (2) 研修会の開催について
- (3) 「東京都保険者協議会における協働の取組」について
- (4) 保険者の取組事例の構造化について
- (5) コロナ禍の健康等への影響分析について
- (6) 令和3年度 負担金の返還予定額について

(事務局)

【資料1】を用いて一括報告

(会 長)

事務局よりコロナ禍の健康等への影響分析についての説明があったが、質問・意見等はあるか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副会長)

自保険者の事業の一つとして、事業所の健康カルテ、いわゆるスコアリングレポートの配布を行っており、事業所ごとに健康課題を認識して取り組んでいただきたいと思いますと思っている。

昨年末から今年にかけて5か所事業所を回る機会があり、スコアリングレポートを持参した。その中で、営業系が中心になっている会社が3社あり、特定保健指導の対象者の増加や、メタボリスクの上昇、運動不足・食べ過ぎ等といった内容がデータで出ていた。

実感としてはどのように感じるかということを経営者や総務・人事の方に聞いたところ、実感とデータが合っているとされた。もしこれが続くようなことがあれば将来的にいろいろな形で健康に悪い影響をもたらすのではないかと思われる。

もう少し分析を試みる必要はあると思うが、そのような傾向がはっきりしてくるのであれば、保険者としてもいろいろな手を打っていく必要があると思う。

(健康保険組合を代表する者)

今般のコロナ禍の健康等への影響の分析については、データ分析部会においても令和4年度の取組として進めていくという話が出ている。

具体的な実感として、レセプト等で医療費の状況を見るとコロナに関係する検査が増えたり、データヘルスから見ると特定保健指導の対象者が増えてきている状況がある。

また、数値自体も悪化している。

まだ個々の細かい分析はしていないが、感じとして増えてきているのは確かかなというふうに思う。

特定保健指導については、過去の改善状況と比べると、2020年度の数値は改善の状況があまり思わしくない。このような状況が見て取れるので、どのような項目を検討するのかというのは今後の課題になるかと思うが、コロナでの健康への影響といった内容は分析をしていくべきなのかなということを感じた。

(健康保険組合を代表する者)

特定健康診査・特定保健指導の第3期が残り約2年となる中、現場では、納付金・支援金の加算の対象になることを避けるために、とりあえず特定保健指導に関わる必要項目を消化するといったように、目的が曖昧になっているところがあるように感じる。

その背景には、自分たちが取り組んでいる特定保健指導が生活習慣病対策にどの程度効果があるのか見えにくい問題があると思う。特定保健指導によって、加入者の健康状態がどれだけ改善しているか、そしてそれをどのように検証していくのかということについて

の問題意識を持っている。

今後、第4期に向けての議論が始まると思うが、保険者としては、特定健康診査から特定保健指導という流れを進めていけば皆が健康になる、だから行う必要があるということがきちんと見える化され、公表されることを期待している。

また、効果の検証に加えて、特定健診、保健指導の実施形態の検証、例えば、40歳以上としている年齢区分の是非や、性別による保健指導のあり方などについても精査が必要ではないかと考えている。その辺りを含めて保険者協議会として意見反映できる場や時期などを検討していただきたいと思う。

(会長)

事務局、何かあるか。

(事務局)

今年度9月に委員の皆様の意見を取り纏めた要望書を保険者協議会から厚生労働省へ提出している。提出の際に会長から、そもそもの保健指導の在り方や効果について当時の室長と意見交換をしている。

例えば来年度、今いただいた意見等を取り纏め、要望書として厚生労働省に提出するというのが具体的には実施出来る方法であると思う。

(会長)

よろしいか。

(健康保険組合を代表する者)

承知した。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副会長)

補足説明になるが、先ほど5か所事業所を回ったと申し上げたが、3社は営業系でリモートが進んでおり、ほとんど会社に出社していないという会社であった。

この3社についてはクリアにデータに影響が表れていたが、残り2社は必ずしもそうではなく、出社する頻度は少し減ったかもしれないが、それほど明確に落ちたとか下がったとかいう数値は見取れなかった。

このことから、コロナでの健康への影響に関する分析をする際には、リモートを主体にしている方とそうでない方を比較するとよいのではないかと思う。リモートにより体を動

かさない、家にいてもなかなか外に出ないという、そのようなことが合わさって運動不足あるいは食事の変化が起きている中で、それが健康にいろいろな面で影響をもたらしているということも考えられるのではないかと思う。

自保険者のデータはそこまでは取れないもので、もし個別の健康保険組合でそのようなところまでデータを取れるようであれば、ぜひリモート中心にしている方とそうでない方を比較すると、差がクリアに出てくるのかなと思う。

可能であれば部会で検討いただきたい。

(健康保険組合を代表する者)

自保険者の母体企業はコロナ禍でも出勤を必要とする業種であるが、現在デジタル・トランスフォーメーションの仕掛けが加速化している。例えば料理の配膳に当たって、ロボットがテーブルまで料理を運ぶというようなことが進んできている。

コロナ禍で「非接触」がキーワードとなり、関連の機器関係が導入されることによって加速度的に環境が変わり、結果として従業員は運動不足となっている。実際に社内検証で、2時間で5,000歩歩いていた配膳担当の従業員が、ロボットが導入されたことによって半分の歩行数になったという実績が出ている。

このようなことが結果的に運動不足につながるということを、既に社内の健康推進会議等で議論をしているところである。

(会 長)

他に質問・意見はあるか。

(特になし)

《議決事項》

第1号議案 令和3年度 東京都保険者協議会関係業務会計歳入歳出予算補正について

(事務局)

【資料2】P.1～P.6を用いて説明

(会 長)

質問・意見等はあるか。

(特になし)

第1号議案 令和3年度 東京都保険者協議会関係業務会計歳入歳出予算補正について、承認いただきたい。

(異議なし)

第2号議案 令和4年度 東京都保険者協議会事業計画等について

(事務局)

【資料2】 P. 7～P. 14を用いて説明

(会 長)

質問・意見等はあるか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副会長)

令和4年度 実施計画にある各種研修会について、令和3年度実施した動画配信形式を引き続き行くと認識しているが、動画をアーカイブとして残すことは可能か。

(事務局)

研修会の開催形式については各部会でも議論しているが、アーカイブとして残すことに関しては講師等との調整やいつまで残すのか等、様々な検討が必要になると思われるので、今後各部会や講師等との調整の中で検討していきたいと思う。

(会 長)

よろしいか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副会長)

承知した。

(会 長)

他に質問・意見はあるか。

(特になし)

第2号議案 令和4年度 東京都保険者協議会事業計画等について、承認いただきたい。

(異議なし)

第3号議案 令和4年度 東京都保険者協議会関係業務会計歳入歳出予算について

(事務局)

【資料2】 P. 15～P. 22を用いて説明

(会 長)

質問・意見等はあるか。

(特になし)

第3号議案 令和4年度 東京都保険者協議会関係業務会計歳入歳出予算について、承認いただきたい。

(異議なし)

《その他》

(1) インターネット福祉保健モニターアンケート結果～

「後発医薬品（ジェネリック医薬品）」について～ 等

(事務局)

【資料3】を用いて説明

(会 長)

質問・意見等はあるか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副会長)

14ページのQ11にある「ジェネリック医薬品に変更したきっかけ」について、薬局や医師からの説明以外の、保険者や自治体からの働きかけである希望シール、お知らせや差額通知等を合計すると全体の中でかなりの割合を占めると思われるが、3年前と比べて数値に変化はあったのか。

(事務局)

一昨年のデータと比較したものがあある。後ほど報告いたしたい。

(会 長)

他に質問・意見はあるか。

(特になし)

(2) コロナ禍におけるがん検診の受診促進のための普及啓発について

(3) 女性の健康をサポートするポータルサイトについて

(4) 肝炎ウイルス検診に係る受検勧奨等を目的とした啓発資材について

(5) こころといのちの講演会について

(事務局)

【資料4～7】を用いて説明

(会長)

質問・意見等はあるか。

(特になし)

(6) 東京都歯科医師会の取組について

(日本健康会議「健康づくりに取り組む5つの実行宣言2025」宣言2関係)

(事務局)

【資料8】を用いて説明

(会長)

質問・意見等はあるか。

(医療関係者を代表する委員)

まだ細かいことについては決まっていないが、令和5年度に公益事業として4つの柱の事業を実施しようと思っている。

既により9つの健康保険組合が本会と委託契約をしており、その中で被保険者300名程度、またその他10程度の健康保険組合の被保険者300名程度に対し、無料歯科検診を実施したいと考えている。

また、全国健康保険協会 東京支部の被保険者2000名程度を対象とした無料歯科検診を実施したいと考えている。

詳細が決まり次第お伝えするので、ぜひご参加いただきたい。

(会長)

他に質問・意見はあるか。

(特になし)

(事務局)

先ほどの後発医薬品（ジェネリック医薬品）インターネット福祉保健モニターアンケート結果に関するご質問については、会議終了後に事務局より委員へ回答を報告する形でよいか。

(会 長)

よろしいか。

(全国健康保険協会東京支部を代表する副会長)

承知した。

(会 長)

他に質問・意見等はあるか。

(特になし)

事務局から、何かあるか。

(事務局)

特にございません。

(会 長)

以上で本日の議事は全て終了とする。

閉 会